

# あすなろ通信 58号

編集 NPO法人みよし子育て・学び支援あすなろ

事務局 〒728-0006 三次市島敷町 1497 番 1

(TEL 0824-55-6301 FAX 0824-55-6302)

HP <http://asunaro-juku.sakura.ne.jp>

発行日 2026年2月6日

## 今月のことば

「神はサイコロを振らない  
(God does not play  
dice)」

アルベルト・アインシュ  
タイン (物理学者)

### 新年のご挨拶

理事長 松本 信司

二〇二六年も一カ月過ぎましたが、あすなろ塾生・保護者のみなさま並びにあすなろ関係者のみなさまにおかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

年明けから暖かい日が続いたかと思うと、一月中旬からは連日の大寒波が襲来し、特に北陸から北海道の日本海側では記録的な大雪となりました。除雪中の事故で十数名の方が亡くなられたとの報道もあり、毎日テレビの中継を目にするたび、胸が痛みます。昨年夏の猛暑に続き、この冬の連日の大寒波と、異常気象が続くことに不安を覚えます。

その寒い中ですが、あすなろ塾生たちは元気に通塾しています。特に三年生にとっては受験が目の前に迫っていますから、いよいよ追い込みで、講師の先生も力が入っているようです。

近年の塾の状況ですが、「経済格差

を学力格差にはならない」という設立理念を前面に出しながら募集してまいりましたが、なかなか生徒が集まりませんでした。

今年度は一年生〇人、二年生一人、三年生六人でスタートしました。二年連続の一年生〇人ということで、私たちは危機感を抱き、いろいろと話し合いました。

- ・ 私たちの取り組みが本当に中学生のニーズに込んでいるのだろうか。
- ・ 電子機器の発達により、新聞折込ではあすなろ塾を必要としている家庭に届かないのではないか。

私たちの理念を知っていただくにはどうしたらよいか話し合った結果、塾生募集のポスターを作り、三次市内の各所に約三十枚貼らせていただきました。

また、塾生から一般生徒まで対象に参加無料で夏休みサマースクールを開きました。募集方法は八次地区内に二週間かけて募集ビラ一五〇〇枚をポストインしました。

その結果塾生以外に一年生二人、二年

生〇人、三年生四人の応募がありサマースクールを実施することができました。夏休み明けには一年生一人、二年生(十一月から)三人、三年生二人が入塾しました。成果があったので、来年度募集についても、二月から三月にかけてビラ入れをする予定です。

これからもさまざまな機会を通じて、あすなろ塾の設立理念が、塾を必要としながらも塾に通うことができている生徒や保護者に届くよう努力してまいります。今後もご支援の程、よろしくお願いいたします。



新しい年を迎えて、在籍する一・二年生に今年の決意、将来の夢という題で作文してもらいました。素直に一年間を振り返り、前に進むうとする姿を読み取っていただければ幸いです。

## 新年の決意

一年 A

私は、新しい年を迎えて、中学校で達成したい三つの目標を立てました。

まず、勉強についての目標です。勉強の目標で自分が決めている事は、英語と数学で難しい問題でも解けるようになることです。これを達成するのにもたいへんな努力が必要です。しかし、今はまだ一年生の三学期だから、中学校生活が終わるまであと二年間あります。少しずつ勉強の仕方もわかってきたので、最後まで頑張りたいです。

二つ目は、クラブ活動についてです。クラブ活動の目標は、試合で一度勝つことです。個人戦の試合で一回でも勝つということとは小さな目標かもしれませんが。しかし、私は去年、一度も勝つことができてなくてとても悔しい思いをしました。

だから、「二勝する」という小さい目標から始めて、こつこつと積み上げて、少しずつ上手くなっていけるようにがんばります。

次に三つ目の目標です。それは、中学校生活で一番大切にしていきたいことです。それは、友達関係についてです。

最近の友達関係は、まあまあいいほうです。しかし、昔はあまり友達がいませんでした。自分の性格や行動などが他の人にとつてはいやだと思われたのか、少し距離を置かれるようになっていた時期がありました。でも今は、昔より友だちが増えて、楽しい生活を送っています。これからも他人の気持ちを思いやる心のゆとりが持てるようになりたいです。

## 受験生になる

二年 B

新年を迎え、今年は受験生になる年になりました。受験生になるのだからもつとがんばらないといけないと思い、受験に合格するという決意を胸に、勉強をがんばってこうと新しい年の始めに決意しました。

高校受験に向けて、まずは、志望校を決め、その高校を目指し、合格できるように日々の勉強や、授業を大切にしてい

かないといけないと思っています。それと同時に、残り少ない中学生活の中で、学校の行事にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

そして、私が今一番大切だと思っていることは、身だしなみや挨拶をきちんとし、日頃の感謝の思いを相手に伝えることです。私はそのことを頭に入れて、過ごしていこうと思います。

私は、中学校生活の二年間を終え、残り一年になり、これまでを振り返ってみました。私にとつて昨年は、毎日が楽しい一年でした。しかし、ある意味勉強に危機感を持つていなかった一年だったことを少し後悔しています。二学期後半からやつと勉強しなければならぬという気持ちになって、勉強に追われるような毎日になりました。

勉強の遅れを取り戻すため、塾に通い始めました。そこからテストの点数が上がり、冬休みには、勉強会にも積極的に参加して勉強していたので、受験生として良いスタートになったと思います。

私は、高校生になったら、楽しく過ごしたいという気持ちはありますが、中学生の時と同じ後悔はしたくないので、勉強も大切にして、高校生活を送っていきたいと思います。

## 新年の決意

二年 C

私が、お正月に決意したことは勉強と部活動がんばることです。中学校の最学年になり、受験生になるので、一、二年生で嫌いだつた理科や社会、数学、英語、国語の五教科をがんばっていきたいです。「受験」で高校に入学できるかどうかが決まるので、一年生や二年生の時よりも勉強時間を増やして受験に向けて準備していきたいのです。先生の話を良く聞くだけでなく、毎時間の授業を大切にして、分からないところは先生に聞いたり自分で調べたりしてがんばります。

学校の成績を上げるためには、提出物を出し忘れないこと、テスト前には授業で学んだことを何度も復習することが大切だと思います。入試に向けては、過去問を解いて志望校に受かるようにがんばりたいです。

私がやっている部活動は、テニス部です。私は小学四年生のときにソフトテニスを始めました。二年生の二学期からはテニス部の部長をしています。部員の仲間と一緒にソフトテニスをできるのはあと約八ヶ月しかないのです。部員みんなと試合に勝てるようにがんばりたいです。

練習はほぼ毎日ありますが、日頃から部員同士で声を出しあって練習に集中

し、顧問の先生の指示をしっかりと聞いて、他の中学校のソフトテニス部より強くなつて練習試合にもつと誘われるようにならばいいです。部長として部員の先頭に立てるようにがんばりたいです。

この二年間、私はあまり勉強に力を入れていませんでしたが、今年受験生なので勉強をがんばっていきたくいです。部活動のソフトテニスは、試合で一回でも勝てるように練習を積み重ねてがんばりたいです。

### 新年の決意

二年 D

私の新年の目標は、苦手なことに挑戦することです。なぜなら、去年までの私は、苦手な勉強を避けていたからです。また、今までの中学校生活を振り返ると、提出物を出していない教科もありました。特に英語と国語が苦手です。

英語では、単語を覚えるのが苦手なため、Eノートを提出したり、プリントや過去問をやつて理解を深めたいです。

国語は、漢字が苦手なので、漢字ノートやプリントを書いたり、漢字検定を受けてみたいと思います。また、今年受験生なので今年までと比べ、勉強時間を増

し、一年生のところで分らなかった教科を復習して、実力テストなどで結果を残せるように勉強していきたいと思います。

他に、苦手なことに挑戦することは、部活動です。私は、今卓球部に入っており、特にサーブが苦手なため、顧問の先生の言うことをしっかりと聞くことや自主練習をすることで技術を磨きたいです。また、ときどき練習試合をする機会もあるので、そこで自分の課題を見つけ試合で勝てるように、練習をしていきたいと思えます。

### 新年の決意

二年 E

私が過ごしてきた中学二年間は、部活動や委員会活動が忙しくて、小学校の頃よりも時間がたりませんでした。そのなかでも広報委員会は、給食時間中に流す音楽を掛けに職員室に行くので大変でした。二年生の時には運動会の放送も担当しました。保健委員会での仕事はストレッチタイムのボール貸し出しの当番があり、これもなかなか大変でした。

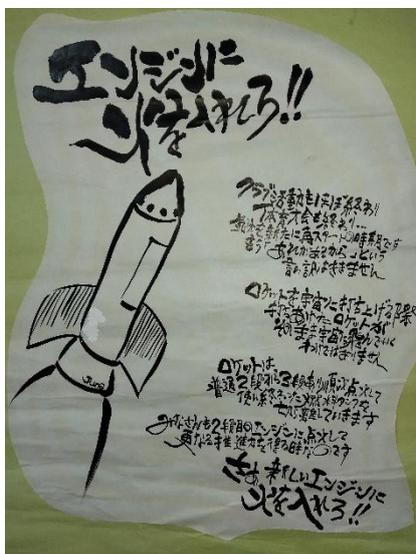
この二年間の私はメリハリがつけられず、提出物を出さず、人前に立つて話すことが苦手で避けてきていました。しか

し、正月におみくじを引いたとき、「努力したことは結果になる」と書いてあり、受験生になる私の心に響きました。新しい年になり、去年の自分よりも成長しようと思えました。

今年受験生になるので、スマホを見る時間を減らして勉強を頑張らなければならぬと思つています。まずは今までおろそかにしていた提出物を出すことから始めたいと思います。

もう一つ頑張りたいことは勇気を出して人前に立つことです。内気な性格を克服するために、私は委員長に立候補し、人前に立つて喋ることに慣れようと思つました。

残り一年余りとなった中学校生活をこれまでとは違った忙しさで乗り切っていきたいです。今年部活動と勉強の両立ができるように頑張ります。



## NPO法人あすなろ・賛助会員募集

賛助会員：ボランティア活動は出来ないが、寄付金等でご協力できる企業や個人

個人年会費：1口(5,000円)以上

企業等年会費：1口(10,000円)以上

特典：あすなろ通信送付(年3回発行)

問合せ：あすなろ通信の発行住所と同じ(TEL・FAXとも)

体験を通して学ぶ

塾頭 守本 秀樹

あすなる塾でいろいろな生徒と出会う中で、近年特に強く感じていることがある。それは、「子どもたちに体験が乏しい、読書、戸外遊び、自然との関わり、社会との関わりなどのあらゆる分野の体験が乏しい。」ということだ。スマホの所有率も全国的に上昇し、スマホゲームや動画視聴、AIを利用している調べ物など、中学生の一日の使用時間は平均三時間という調査結果もある。

確かにスマホやインターネットは便利である。調べたいことを入力すると即座に答えが出てくる。しかし、このように簡単にして得られた知識や情報は、自分が体験したり、本などで調べた事を自分でまとめたりして苦労して獲得した知識や情報に比べ、持続性がないと感じているのは私だけだろうか。実際、私は同じ事を何度もスマホで確認しなければならぬことも多い。自然や他者との関わりなしに自分だけの世界で物事が完結していくツールが子どもたちの生きる力を育てて

いるとは決して思えない。

そんなとき、昨年(二〇二五年)一二月に広島ホームテレビが制作したドキュメンタリー「自由学校 ボクたちのあしあとーみんなで作るあたらしいかたちー」を視聴した。

二〇二二年に休校になった川北小学校校舎を活用して二〇二五年に創設された広島県初の自由学校「学校法人 庄原こどもの夢学園 川北こどもの夢小学校」の特徴は、徹底した子ども中心で、異年齢が一緒になって様々な課題を解決していく学校であることだ。テスト・通知表・宿題なし。めざすのは文字、数という基礎学習に加えてプロジェクト(体験学習)を取り入れた体験型の学びである。プロジェクトでは体験を通していくつもの教科にまたがって子どもたちは学んでいく。今年度のプロジェクトは「いきものチーム」と「ものづくりチーム」の二つで、そのうちのひとつを全員が自分で選んで学びに取り組んでいる。

学校の行事も従来のような決まったものではなく、全て子どもたちが話し合ってみんなで決めていくシステムだ。現在12

人の子どもが入学し、昔ながらの暮らしや知恵、豊かな自然を生かしたこの地域ならではの学びが実践されている。

テレビに映し出される子どもたちは、どの子ども目を輝かせて楽しく学んでいた。

「経済格差を教育格差にしない」を掲げるあすなる塾としては、入学金20万円、授業料と諸費を合わせると月々5万円余の負担がかかるのでは、経済的に恵まれた家庭の子どもにしか道が開けていない点で、立場を異にするところだ。しかし個人としては子どもたちの体験不足を感じるにつけ、体験学習型の学びを志向することがもつと必要なのではないかと考える。全ての学校がこのような体験学習型の学びを追究できるわけではないが、徹底的に子どもを中心に据えた学びの精神はいくらか取り入れることはできまいか。

私たちあすなる塾は、高校へ行きたい、行かせたいという子どもや保護者の願いを実現させることが当然のこととして求められている。高校に合格する学力をつけると同時に、私たちが大切にしているのは、生活に密着した形で数学の大切さや英語の楽しさを伝えていくことだ。も

っと学びたいという意欲を育てるのは、「ああ、そうだったんだ」という発見の繰り返しや、これまでできなかった問題を解くことができた喜びだと思っからである。それを体感させたいと日々もがいている。

「支援していただいている企業・団体

・ミヨシ電子株式会社

(三次市東酒屋町)

・㈱三次衛生工業社

(三次市四拾貫町)

「支援していただいた皆様

・瀬川順子 (三次市三良坂町)

・小根森直子 (三次市十日市東)

・木暮敬之 (東京都東久留米市)

・笹田富子 (福山市)

・深田俊克 (三次市作木町)

・匿名 (三次市三良坂町)

・匿名 (三次市南島敷町)

・匿名 (三次市栗屋町)

・匿名 (三次市十日市東)